

奥松島&瑞巖寺研修

榎ノ木

第30号

令和7年3月15日発行
青壮年部女性部広報
題字:大内翠峰



禪興寺ホームページ



奥松島クルーズ おもしろかったや〜！寒っ！



バージョンアップしたライトアップ



目の保養の後はノドと胃の保養!?



日本三景松島の奇岩



11月8日、晴れて風のない良いコンディションでの前半のクルーズ(奥松島遊覧船は、まず救命胴衣を装着してから乗船しました。船長さんからのガイドもあり、海岸からではけっして味わえない独特な松島湾の表情を身近に感じ目と耳で楽しむ事が出来ました。後半は、無数のLED電球が光り輝くライトアップの瑞巖寺で、新設された音響や大型ビジョンのあたたかい光が彩って、普段観ることが出来ない箇所も見学する事ができ、いつ見ても飽きさせない工夫があり感心させられました。

最後は、「満州園」で本格中国料理を参加者全員で堪能し、歩いて、食べての、楽しい研修会で次回も積極的に参加したいと思えます。

松島湾クルーズとライトアップ

反町中 小川 弘吉



法要のお経に合わせて、うねる様なお念仏三昧!?



御詠歌新旧メンバーのハーモニー



岫雲軒老大師の墨蹟と その弟子



大般若経はうねる大波のごとし

お釈迦様のお悟りを寿ぐ、

成道会・大般若祈祷

寄稿

仙台市 樹木葬会員（匿名）

樹木葬会員になるまで当院や宗派と縁がなく、成道会についての知識も持ち合わせておりませんでした。

近隣からご参加のご住職方も含め、力強いご祈祷は、これまで経験してきた静謐なお寺での行事や読経とは大きく異なるもので、大変感銘を受けました。

ご参加の皆様と共に大きな数珠を回すことも他では体験したことがなく、仏教の様々な面を新たに学び、共に充実した時間を過ごさせてくださいました。

参加させていただいたことに感謝申し上げます。

※令和6年12月8日厳修



大般若経を伝えた三蔵法師

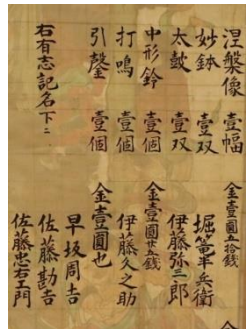
お釈迦様の御命日に遺徳を偲ぶ



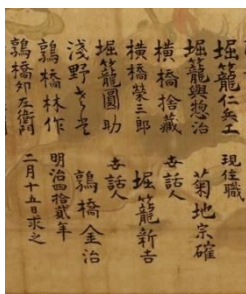
満面の笑み！で締めくくり



住職の涅槃図絵解き法話



涅槃図裏書



ねはんえ
涅槃会

涅槃会は、お釈迦様の御命日に行う法要です。

約二千五百年程昔、インドのクシナガラーの地において、齢80歳(諸説あり)にして、お釈迦様が涅槃(入寂・入滅)現身が果てることに入られました。三佛忌※1の一つです。

本年は、御命日当日に実施できませんでした。

一詠歌奉詠、坐禅、法要後は、住職により、涅槃図を前に絵解き法話が行われました。

涅槃図は、明治時代に檀信徒より寄贈された百二十年程歴史のある古色蒼然とした寺宝です。

参加者の皆さんは、各箇所の意味を理解するにつれ、お釈迦様のぬくもりや息遣いが彷彿として、目の当たりにするかのごとく感じられ、興味深く聞き入っていました。

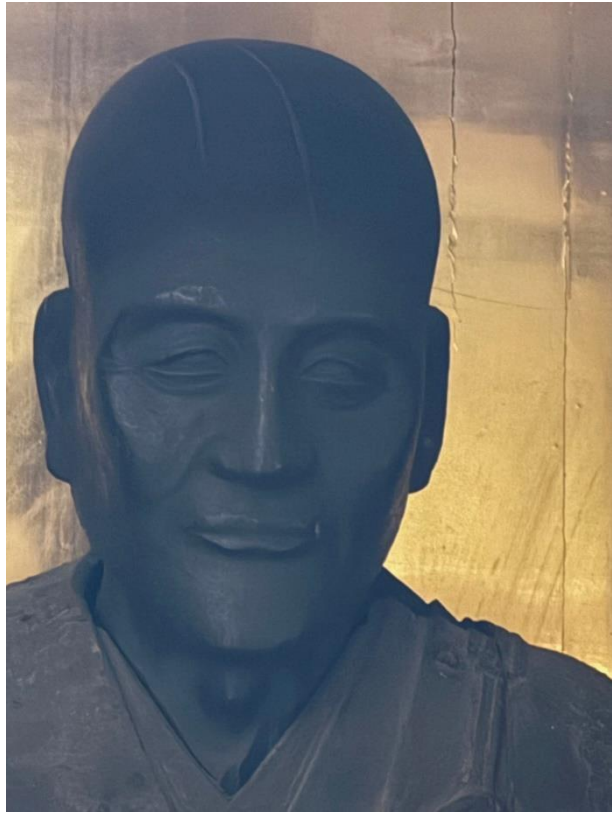
※1 三佛忌 さんぶつぎ

4月8日、降誕会・誕生日 こうたんえ

12月8日、成道会・お悟りを開いた日 じょうどうえ

2月15日、涅槃会・命日 ねはんえ

禪興寺開山法身性西禪師、ゆかりの地を訪ねて



額にクッキリ!?下駄歯二筋の傷痕が!



法蓮寺開山堂内法身性西禪師御位牌

反町中総代 佐藤 彰

11月17日〜18日総代会研修会にて瑞巖寺&長福寺(禪興寺前身)開山法身性西禪師ゆかりの地、青森県十和田市洞内を訪ねました。

法身性西禪師は、一八八九年に現在の茨城県真壁郡で平四郎として生まれ、藩王 真壁時幹公に仕えました。

雪見の宴の折に懐で暖めていた殿の下駄を尻に敷いていたと誤解され、額を蹴り上げられた傷が法身堂の木像にも生々しく刻まれていたのには、思わず息を呑みました。

何より感銘したのは、額に傷を負わせてしまった旧主 真壁時幹公が昔の非礼を詫びて弟子となることを許され二代目住職となったことでした。

師は、失意から三十を過ぎて出家。四十代で宋の径山仏鑑無準禪師の元で修行十年、遂にお悟りを開き日本に帰国します。

寛元四年(一二四八)松島の天台宗延福寺(現瑞巖寺)法身窟にて、鎌倉幕府北条時頼公と運命的な出会いを

し、正元元年(一二五九)に開山、初代住職となりました。

その後、長福寺及び今回回参した十和田市法蓮寺(旧円福寺)を開山し、亡くなられます。

師は、この地に稲作を伝えたことされ、師が稲作の際に袈裟を掛けたとされる袈裟掛けの松が法蓮寺から5km離れてあります。総代一同で般若心経を唱えました。

また、五庵河原には樹齢七百五十余年のお手植え大銀杏が現存します。(樹高26m幹回り12m)

例年なら散っているはずの大銀杏が黄葉真っ盛りで、あたかも私たちを迎える如くでした。

さらに、法蓮寺から五百メートル程西の小高い丘にある禪師のお墓(法身塚)の前で再び師の遺徳を偲び諷経を致しました。

この研修会は、師の遺徳を偲び七百五十余年に及び禪興寺の歴史の重みを感じられた心洗われる二日間でした。

合掌

清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



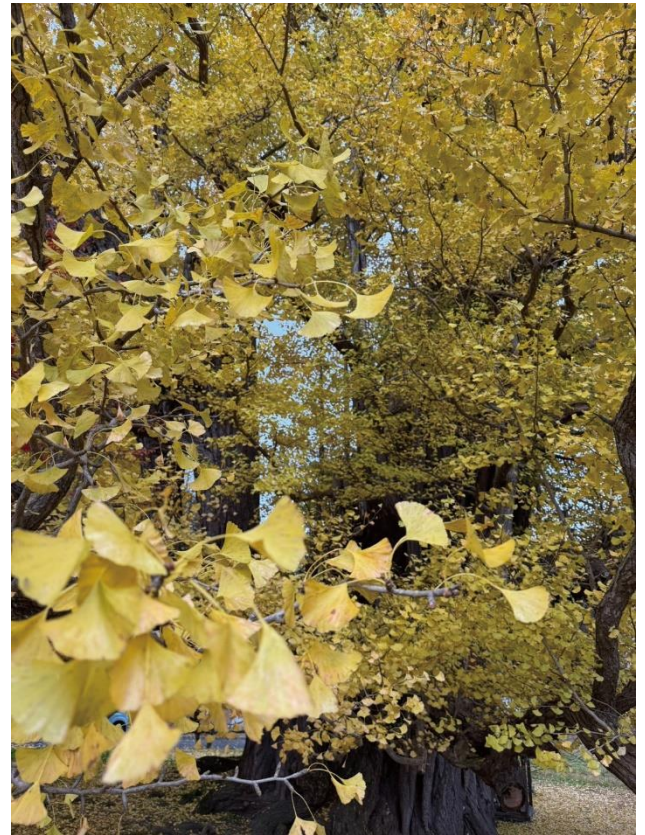
法身塚を前に般若心経一卷



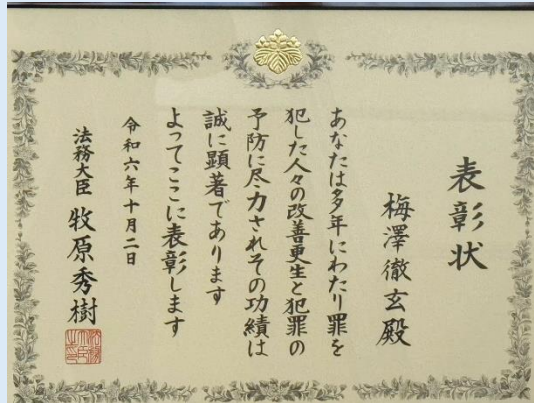
袈裟掛けの松（十和田市洞内^{ほらない}）



法身禅師手植えの大銀杏（樹齢 750 余年）



銀杏大宇宙の大爆発（ビックバン）!?



永年の保護司の功績が認められました。

梅澤徹玄任職は、長年にわたる保護司の活動により、「多年にわたる罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力した」功績として、令和6年10月2日に法務大臣表彰を受賞されました。

**法務大臣賞表彰
宮城県更生保護大会にて**



Xmas イルミネーション輝く仙台市一番町にて



辻説法&コーヒー説法

「社会に向けて仏の教えを発信！」



拝観者の歩みを止める辻説法!?

昨年に引き続き、臨済宗妙心寺派宮城福島教区布教師会による松島瑞巖寺辻説法・コーヒー説法が行われました。

辻説法は、10月12日～27日の各土日・午後1時・2時半の15分～30分、コーヒー説法は年間通じて、仙台市内一番町のライフスタイルコンシェルジュを会場として年8回(月1・不定期・無料)開催されました。

梅澤住職は、12月17日に会場満員の聴衆に約一時間、語りかけました。

令和7年は、静岡・愛媛・福島等県外からの講師も含め、年10回の開催となります。ご期待ください！

今後の行事予定

- ◎3月24日(日) 午後3時～ 境内墓掃除
- ◎5月19日(月) 子育て水子地藏祭り・降誕会
- ◎8月11日(祝・山の日・月) 孟蘭盆施餓鬼会
- ◎8月13日(水)～15日(金) 盆棚経
- ◎8月20日(水) 午後3時～ 墓清掃

編集後記

ついに榎ノ木が30号の記念となりました！

おかげさまで皆さんの協力のもと続けてこられました(感謝)

榎ノ木を編集し続け15年にもなり、編集会議で集まれば、「写真はどれにする?」なんて、ワイワイ楽しく、お菓子を食べながら作ってきました。

これからもスタッフ一同、人と人を結ぶ広報誌を目指し、精進していきたいと思えます。

早坂



アッと驚くO×五郎♪

広報部

- 部長 相澤敏晴
- 副部長 佐藤彰
- 部員 早坂妙子 小川弘吉

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
 〒九八一・三六二五
 宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
 電話番号 〇二二・三四五・二〇六三